



作文1部

ぜんこくのうぎょうきょうどうくみ あいちゅうおうかい かいちようしょう
全国農業協同組合中央会会長賞

おかゆとおおきいばあば

しずおかけんぐくろい しりつ みつかわ
静岡県袋井市立三川小学校一年

こまつ たくみ
小松 巧実

ぼくのおおきいばあばは、96さいです。はがないので、おかゆをたべています。あさもひるも、よるも、まいにちです。ぼくもたまに、おおきいばあばの、のこりのおかゆをもらいます。たまにたべるおかゆは、とてもおいしいです。

なつのあついひは、おかゆがあつくておおきいばあばは、おちやわんをもてません。だからぼくは、おかゆのなかにこおりを3こいれてあげます。そうするとおおきいばあばは、いつもうれしそうに「たくちゃんありがとね。」
といってくださいます。

「どういたしまして。」
というと、おおきいばあばは、にこにこしてくれま
す。おおきいばあばは、いつも、ぼくのせんたくものをたたんでくれます。とてもたすかります。なつや

すみに、なにかおかえしをしたいとおもって、おかあさんに

「おいしいおかゆのつくりかたをおしえて。」

とおねがいました。おかあさんは、ぼくにもできるおかゆのつくりかたをおしえてくれました。①なべにごはんをおちやわんのはんぶんいれる ②みずをおちやわん2はいぶんいれる ③ひでにて、こげないようにかきまぜる ④ごはんがすこしとけて、ねばねばしたらできあがり。

ぼくは、おおきいばあばのおかえしに、はじめておかゆをつくってあげました。がすのひは、ちよつとこわくてあつかったけど、がんばっておかゆをつくりました。できたてのおかゆは、やっぱりあつかつたので、いつもとおなじように、こおりを3こおかゆのなかにいれてあげました。おおきいばあばは、いつものようににこにこしてくれました。

おおきいばあばには、おかゆをたくさんたべてながいきしてもらいたいです。